

高等学校 令和5年度

教科 芸術

科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：(A～F組：星山 剛一)

使用教科書：(高校生の美術 1 )

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】造形の要素や働きを理解し、自ら創意工夫をして主題を表現する。

【思考力、判断力、表現力等】モチーフやテーマを観察や分析をし創造的に表現をする。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い分野を学び、社会と芸術の関連を理解し、感性と美意識を高めた心豊かな創造活動をおこなう。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・造形の要素や働きを理解している。 ・意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、自らの表現に創意工夫し主題を追及して表現している。	・対象から感じ取ったことなどから主題を創造的に生成している。 ・作品を完成させるまでの過程を理解し、作品制作を通して自分自身を表現することが出来る	・美術が私たちの生活において身近で大切なものであることを理解する。 ・主体的に表現に取り組み、感性と美意識を高め心豊かな創造活動を行う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵・彫	デ	映						
A 単元 絵画 素描「りんご」 【りんごの形体的理解を深めて立体を捉える。表現に必要な技能を身に付け、陰影などの表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力や鉛筆の濃淡による表現を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 モチーフ「りんご」 鉛筆 2H～3B 練りゴム ティッシュ 八つ切り画用紙	○			○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのかたちや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	6
A 単元 絵画 油絵「りんご」 【りんごの形体的理解を深めて立体を捉える。表現に必要な技能を身に付け、陰影などの表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力や油絵具の重ね方やぼかし方による表現を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【油絵の特性と表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 モチーフ「りんご」 油絵具 各色 溶き油 ペーパーパレット キャンバスボードF6		○		○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのかたちや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	8
A 単元 彫刻モデリング「石」 【石の形体的理解を深めて立体を捉える。造形や彩色に必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力や混色による表現を発見し表現の工夫をし構想する。】 【表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 素材の扱い方、道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 モチーフ「石」 石粉粘土、アルミホイル 木へら、竹櫛、 アクリルガッシュ	○			○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのかたちや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	4
A 単元 鑑賞「コマ撮り映像の鑑賞」 【コマ撮りアニメーションについての理解を深め、作者の表現に対するこだわりや作品への向かい方などを感じ取る】 【表現方法やその効果を理解して、自らの表現活動を振り返る。】	・指導事項 制作過程の紹介 鑑賞のポイント ・教材 プリント 鑑賞機材一式				○	知：コマ撮りアニメーションについての理解を深める。 態：映像から感じ取ったことや考えたことを文章にして表現する。	○		○	2

2 学 期	A 単元 彫刻モデリング「石」 【石の形体的理解を深めて立体を捉える。造形や彩色に必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力や混色による表現を発見し表現の工夫をし構想する。】 【表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 素材の扱い方、道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 モチーフ「石」 石粉粘土、アルミホイール 木ヘラ、竹櫛、 アクリルガッシュ	○	○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのかたちや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	4
	A 単元 彫刻「干支」 【動物の形体的理解を深めて立体を捉える。造形に必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫し表している。】 【動物の造形的魅力や混色による表現を発見し表現の工夫をし構想する。】 【表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 素材の扱い方、道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 プリント 参考資料プリント 粘土、木ヘラ、竹櫛、 釉薬、台板、フェルト、厚紙	○	○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのかたちや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	10
	A 単元 デザイン「塔をつくる」 グループ制作 【塔の構造を再確認し自らの表現に還元する】 【材料の可能性を分析し創意工夫をして表現に生かす】 【構造や重心、バランスなどを試行錯誤して行う】	・指導事項 構造のポイント 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 プリント A4上質紙 タコ糸 マスキングテープ	○	○	知：塔の構造を理解し、工夫して創造的に生かして材料や用具を使い表現する。 思：対象の形体から意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：グループ制作を通して、自らの役割や表現の過程、感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	2
	A 単元 絵画「背景画」 【主題のテーマや表現技法を分析し、表現に必要な技能を分析して創意工夫し表している。】 【表現の魅力や表現方法による効果を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【主題を理解し、自らの感性や創造性を生かして、意欲的に表現を行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 B3画用紙 アクリルガッシュセメント	○	○	知：モダンテクニックの表現方法を生かし、表現に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：色の効果や表現方法（技法）についての意識を働かせて表現の工夫をして制作をしている 態：主題について理解と分析をし、表現方法や配色を工夫して主体的に表現しようとする。	○	○	○	8
	A 単元 絵画「人物クロッキー」 【表現に必要な技能を身に付け、即興で人物を描ける能力を身に付ける】 【人物の構造や筋肉の付き方などを理解し、ポーズから理解を進め表現に繋げる。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 表現方法の工夫 ・教材 A3上質紙 コンテ	○	○	知：人物の構造を理解し表現要素を効果的に構成している。 思：対象の形体から意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：表現活動を主体的に行い、人物やポーズから感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	2
3 学 期	A 単元 デザイン「平面構成」 【表現に必要な技能を身に付け、配色などの表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【配色や色の塗り方など表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 プリント アクリルガッシュセット 八つ切りケント紙	○	○	知：自然物の特質を理解し表現要素を効果的に構成している。表現に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：表現活動を主体的に行い、モチーフのかたちや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	8
	A 単元 デザイン「缶バッジDESIGN」 【表現に必要な技能を身に付け、配色などの表現方法を創意工夫する。】 【デザインの魅力を発見し工夫をして構想する。】 【配色や色の塗り方など表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 プリント アクリルガッシュセット 八つ切りケント紙	○	○	知：色や線表現の要素を効果的に構成している。 思：感性を働かせて、表現の工夫をしている 態：色や線の表現から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	2
									合計
									56